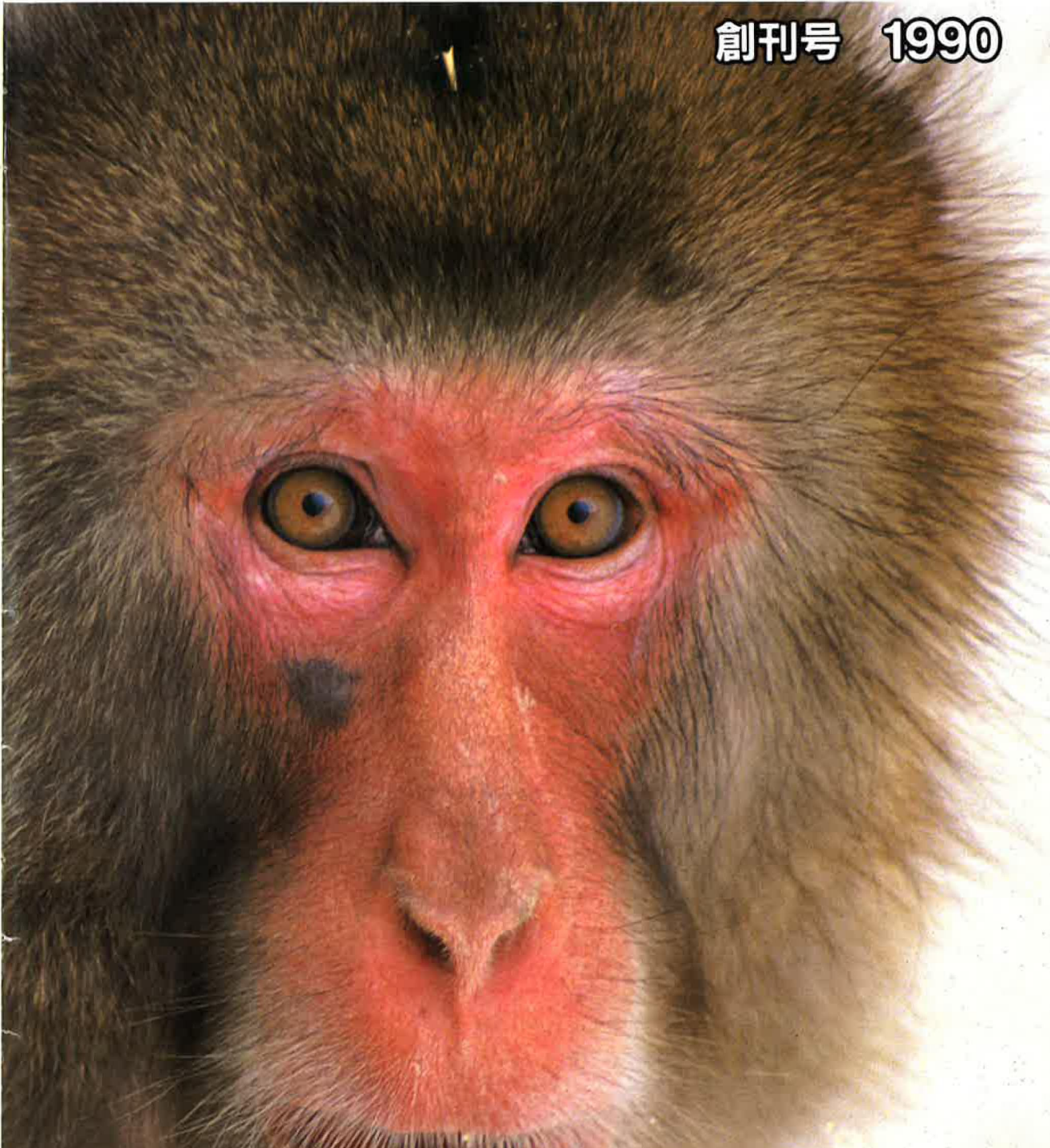


zoo もりおか

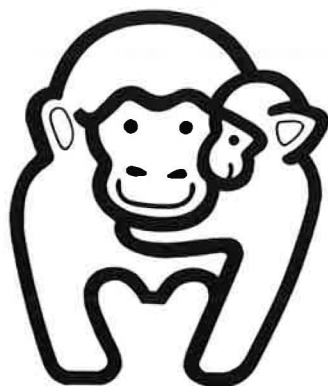
創刊号 1990



盛岡市動物公園

目次

開園のあいさつ	3
開園に寄せて	3
動物公園目で見た開園までの足どり	4.5
たのしい動物公園	6.7
カナダ・ビクトリア市からの動物たち	8
どうぶつこうえんウラばなし	9
どうぶつこうえんこの1年	10.11.12
動物公園日誌	13
お便りから	14.15
紹介します この人を	15



●シンボルマーク

待望のシンボルマークが決定いたしました。作品を広く公募したところ、たくさんのユニークな作品が寄せられました。

それらの中には、5歳の男の子によるかわいらしいタヌキの絵やサル、クマなどを用いて盛岡の“M”をシンボライズしたものなど傑作ぞろいでした。

審査の結果、この作品が選ばれました。作者は川村亮二さん（岩手県紫波郡矢巾町・37歳）で、「ニホンザルの親子の動作を親しみやすくデザイン化し、足の動作に盛岡のイニシャル“M”と“ハート”を配し、いつまでも親しみ愛されるような動物公園をイメージし、シンボライズした」との事です。本物のニホンザルと同じように、みなさんかわいがって下さい。

表紙写真説明

ニホンザル（霊長目オナガザル科）

九州から青森県下北半島までの森林に生息しており、雪の中でも暮らすサルとして有名です。群れて生活し、雑食性で果実・木の実・昆虫などを食べます。当園のサル山は入口からすぐのところであり、いつもお客さんでにぎわっています。

このサル山には現在22頭のニホンザルが暮らしており、その中には“イケズ”と“ユンタ”という2頭のオスザルがいます。2年前にこの動物園にやって来た時には、イケズがリーダーでした。ユンタはこのサル山の中で1番体は大きいのですが、メスやコドモにまで追いまわされるようなサルでした。ところが昨年秋、イケズとユンタの間で争いが起こりました。1ヵ月以上の間、2頭は闘いを繰り返し、他のサル山の住人たちとともに我々人間たちもハラハラした毎日を送っていました。その結果、年下のユンタが勝ち、ニューリーダーが誕生しました。

厳格な感じのリーダーだったイケズに対して、まだユンタは少し頼りないところがあります。でも、この顔を見てください。勇ましい顔をしているでしょ。どうですか？

開園のあいさつ



(財)盛岡市動物公園公社
理事長 太田 大蔵

都市化の進展により、身近の自然が失われつつあり、心のゆとりさえ感じられなくなっている中で、盛岡市は、自然と調和した街づくりを進め、全国的に高く評価されています。

緑豊かな自然の中で、動物との楽しいふれあいができる動物公園。家族ぐるみのレクリエーションの場として、また、子供たちの大きな夢をはぐくむ社会教育の場として、平成元年4月22日開園いたしました。

今年度は好天にも恵まれ、県内外から約25万人の人達が訪れ、大変ご好評をいただきました。

この動物公園は、市制100周年を記念して建設したもので、37%の敷地に、盛岡の気候や風土にあった動物を中心に展示しております。

園内は、広い飼育場でのびのびと生活する動物たちの様子をご覧いただけるように設計しております。起状に富んだ園路沿いには、ウサギやヤギなどと直接ふれあえる「こどもどうぶつえん」やビデオやパネル、標本などを使って動物の生態を学習できる「動物資料館」などを設けています。

また、平成3年春からは、ライオン、キリン、ゾウ等の施設を公開する予定です。

今後とも、この動物公園が末永く皆様に親しまれ、愛される施設となりますよう、ご支援、ご協力をお願いいたします。

平成2年3月

開園に寄せて



岩手大学教授
(財)盛岡市動物公園公社
理事 村上 大蔵

市制100周年の記念施設として、長年の懸案であった待望の動物公園が、昨年の4月岩山南地区に開園されたことは、まことに喜ばしい限りであり、長い間建設に努力された皆さんに対し、心から感謝と御礼を申し上げます。

開園以来、市内をはじめ県内外から多くの方々が来園され、年間の入園目標20万人を早々に達成し、11月末には24万9千人に達するほどの好評でした。

市動物公園は、豊かな自然に親しみながら動物たちとのふれあいを家族ぐるみで楽しめるレクリエーションの施設で、約37%の広大な園内では北方系の動物を中心に約70種、400点のは乳類と鳥類の姿が観察できます。本動物公園は自然公園型で、できるだけおりやさくのない方式

をとり、動物の生態を自然のまま観察でき、学習と動物に親しみやすいように工夫されています。この展示方式は他の動物園にはみられない特長の一つです。

また、動物と自由に遊べる「こどもどうぶつえん」も子供達には大変な人気です。ウサギ、ヤギなどの小動物を抱いたり、さわったりすることもでき、動物は敷地内を自由に歩き回っています。子供達はこの体験を通して動物愛護の心が自然に芽生え、それが生命尊重、友愛、そして平和への精神を涵養し、立派な人間へと成長して行くのです。これは大切なことです。

動物や自然の観察のほか、パネルやビデオを使って動物の生態を学習できる動物資料館もあります。市は、市民の要望に応え同公園の一層の充実を図るため、子供達に人気の高いゾウ、キリン、ライオンなど8種、約40点の動物を展示するアフリカ園の建設に着手し、平成3年度の開園を目指しています。

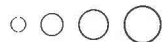
すばらしき盛岡の環境の中で、市動物公園が着々と充実し、市民の皆さんに愛され、活用されて、盛岡市の誇り得る施設の一つにしたいものと心から念願する次第です。

盛岡市動物公園



開園までの足どり

スタート



盛岡市議会の皆さんから、『子供たちのために盛岡にも動物園を』との要望が市長に出されました。(S50年)



『どうして岩山につくることになったの?』

岩山周辺は展望台や遊園地があり、ハイキングなどでみんなに親しまれている場所ですね。そして、森林や草花などの自然もたくさんあり、南向きの暖かい場所なので、動物たちにも、遊びに来るみんなにもとってもいい場所なんです。この動物公園は、元上野動物園長の古賀忠道先生が計画をしてくれたそうです。

(S55年 動物園建設予定地決定)



建設工事開始(S58年)



なるべく山をくずしたり、木を倒さないようにして建物や広場をつくったのサ！だから、緑がいっぱいの公園ができたんだって!!



開園式

平成元年4月22日、カナダ・ビクトリア市からのお客さんをはじめたくさんの方々をむかえてはなばなしく開園式が行われました。昭和50年以来、14年間の歳月をかけて完成した動物公園、みなさんに大いに楽しんでいただきたいと思います。



開園を翌年にひかえたS63年11月3日に見学会が行われました。まだ、工事中でしたが、たくさんの人たちがやって来てみなさんの関心の高さがみられました。



動物の飼育はすでに開園前から始まっていました。

なかには、まだ自分の小屋が完成していない動物もあり、別の場所で飼育係の人たちにはげまされながらくらしていました。



動物たちは開園前の夏から春にかけて盛岡にやってきました。ラクダのような大きな動物はクレーンを使い飼育係全員で運び込みました。

(S63年)



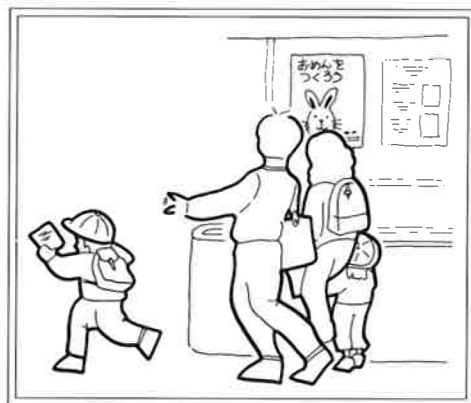


たのしい動物公園



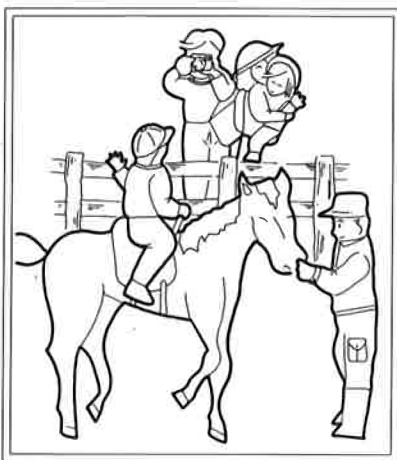
動物公園が新しくオープンして1年、
たくさんの方々に利用していただきました。
動物公園ではみなさんにより親しん
でいただこうと、いろいろな催物を行っ
ています。

ここではある日曜日の太郎くん一家を
例に、動物公園の楽しい過ごし方をご紹
介しましょう。



太郎くんと花子ちゃん、お父さん、お母
さんは朝10時動物公園にやってきました。
入口ではパンフレットと園内自然だより(園
内の季節の植物・野鳥等の情報がのってい
ます)をもらいました。今日はどんな催物
があるのか案内板をよく見ています。

太郎くんたちは、ま
ず動物に朝のあいさつ
をしながら見て歩きま
す。説明板を読むとそ
の動物のいろいろなこ
とがわかります。下の
段には担当の飼育係が
季節にあった話題など
を書いているんですよ。



10:45

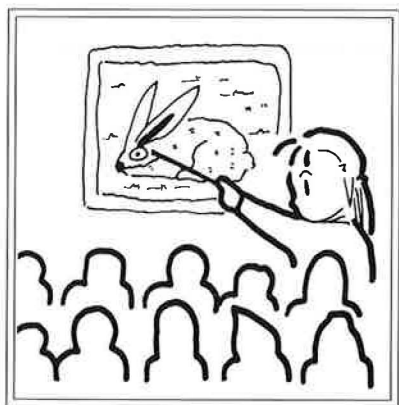
アニマルライドコーナー
にはもう20人位の子供達が
並んでいます。

そう、ポニーに乗れるん
ですよ。(日曜・祝祭日10:45
～11:45、春休み・夏休みには
火・木・土も乗ることができます。無料です。)

11:00

子供動物園にやってきました。花子ち
ゃんは子ウサギやモルモット・ヒヨコを
だっこしています。(10:30～12:00、14:00
～15:00)

太郎くんはヤギやウシにあげる草をつ
んできました。



太郎くんは学校の遠足で前にも来たことがあります。その時には飼育係のお姉さんにスライドを見せてもらいました。(団体で利用するときには事前申し込みで、授業がうけられます。園内ガイドツアーも行います。火・木・金・土)



12:00

広い芝生広場でお弁当。

そのあと太郎くんはお母さんと林の中へ。何か花は咲いていないかな。野鳥はいないかな。



1:00

どうぶつだいすきクラブです。今日はみんなでどうぶつのおめんを作っています。(第2・4日曜日13:00~14:00、子供動物コーナーで。いろいろな内容があります)



2:30

ピューマの前ではピューマの愛称を募集しています。

カワウソの前では飼育係のお兄さんがカワウソの説明をしてくれます。じょうずに泳いで魚を食べるんだね。



4:00

まだまだ遊んでいたいけどもう動物もおうちに帰って餌の時間。

今日は一日楽しかったね。また来ようね。

他にもクイズ大会、サマースクール(1日飼育係)、野鳥・こん虫・木の実観察会、冬の動物・夜の動物観察会などたくさんの催物もあります。年間予定は窓口でおたずねください。

カナダ・ビクトリア市からの動物たち

盛岡市動物公園は、昨年(1999年)の4月22日に開園しました。その開園に間に合う様に盛岡市の友好姉妹都市であるカナダのビクトリア市から、カナダカワウソ、ピューマ、オオツノヒツジそれぞれ雄1頭、雌1頭が贈られました。

第一陣は、カナダカワウソとピューマでした。彼らは、飛行機で成田に、その後一晩トラックにゆられ、4月6日に盛岡に到着しました。動物公園に着いた時、カナダカワウソは、長旅の疲れのためか、少し元気がありませんでした。寝床用の麻袋に入ったまま、顔を見せてくれませんでした。そこで彼らには、大好物の生きたウナギを1尾ずつ食べさせて、2・3日静かに見守ることにしました。



ピューマ



カナダカワウソ

それとは対比的に、ピューマたちは元気一杯で、用意していたエサの馬肉2kgをペロリと平らげ、寝室の中をたんねんに調べて回りました。次の日、様子を見に行くと、床から2mほどの高さに取付けてあった水道凍結防止用の赤外線電球が壊されていて、ピューマの好奇心の強さと、ジャンプ力には驚かされました。

オオツノヒツジは、開園前日の4月21日の夕方に着きました。彼らもピューマたちと一緒に成田に着いていたのですが、検疫のため2週間、動物検疫所というところで観察されていたのです。彼らは、とても神経質な動物です。そのため寝室や飼育係に慣れさせるた

めにしばらく寝室の中で落ち着かせることにしました。そのため開園しても、少しの間はお客さんの前には出さないことにしました。

さて開園当日には、カナダカワウソもすっかり元気になり、プールの中を泳ぎ回りました。ピューマはお客さんの目も気にせず1日中昼寝を決め込みました。オオツノヒツジも少し遅れた4月26日にはお客さんの前に姿を見せました。はじめのうちは、人見知りしていた彼らも、1週間もすると運動場でのんびりと日向ぼっこをする姿が見られました。

その後、この新しい盛岡の仲間たちもすっかりこの土地に慣れたようです。今度は、盛岡生れの彼らの二世を早く見たいものです。



オオツノヒツジ

どうぶつこうえんウラバナし

まぬけな ガンタ君



子グマのガンタ君が動物公園にやってきたのは去年の2月9日でした。生れてからすぐに保護されてきたので、飼育係の人が毎日交代でミルクをのませ、やっとふつうのエサを食べられるようになりました。体もだいぶ大きくなったので、11月22日にすみなれた動物病院からクマ舎に引越しました。クマ舎にはとても広い運動場があり、毎日元気に飛びまわって遊んでいます。

ある日の朝、いつものようにガンタの部屋へ行ってみると、ガンタが見あたりません。しかし、グフ、グフ!!という声がどこからかきこえます。よくみると、なんとガンタは2mほどの高さにある赤外灯の箱の上にのり、降りれなくなっていました。箱は壁から取り付けられているだけなので、階段となるようなものではなく、飛びついてのぼることができても自分だけでは降りられないのです。飼育係がおろしてやろうとすると、かみついたり、ひっかいたりしてあばれます。やっとのことで降ろしてやると、何事もなかったように遊んでいます。そして次の日も同じ所にのぼり、降りれなくなっていました。飼育係たちからは、まぬけなガンタといわれましたが、のぼっても降りられないことに2回目で気付いたガンタ君は、それ以来赤外灯の上にはのぼっていません。

イタチに かわって

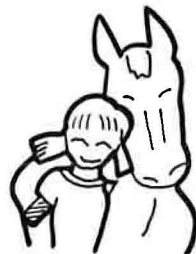


朝、テンやイタチの寢室を掃除していると、

「ワー、テンはすばしっこいネ」とか「きれいだネ」等様々な会話が聞かれます。しかし、イタチの前に来ると、「どこにいるんだろう?」「いないのかな?」といった会話ばかりで、すぐに次の動物を見に行ってしまうのです。こんな時はとても残念で、「もっとよく捜してくれればいいのに」といつも思います。

テンは体も大きく目立つ黄色をしています。イタチはずっと小型で茶色という地味な色をしています。その上、警戒心も強く、たいていはどこかにかくれています。ですから動物公園に来てイタチだけは見られなかったという人も多いことでしょう。今度来た時は岩の下や樹木の間等くまなく捜してみて下さい。きっとわずかな隙間から目と鼻だけのぞかせてあなたを見えていますよ。

ポニーと 友だち



動物公園では、ウサギやヒヨコのだっこ以外にも直接動物とふれ合えることが出来るように、ポニーの乗馬を行っています。4頭の元氣なポニーがみんなを待っています。

ポニーは小さな馬だけど、子供達に比べればとても大きな動物です。ですから、乗馬するにはちょっとした勇気が必要なようです。中には自分の順番が来たら逃げてしまう子やお母さんに背中を押されて来る子もいました。乗ってはみたけれど、泣き出す小さな子や緊張してぐらを持った手が突っ張ってる子も見られました。でも、歩き出して、「おもしろい?」と話しかけると目を丸くして「ウン」と答えてくれたり、ポニーから下りた後に、「ありがとう」と首すじをなでてあげる時の満足した表情がとても印象に残っています。

今年は馬年。もっともっとポニーと仲良しになればいいね。

どうぶつこうえん—こ・め・1・年

催しもの

動物公園ではこの1年みなさんに楽しんでいただこうと、また動物や自然に対する理解・愛情を深めていただこうと、いろいろな催物をもちました。そのおもなものを写真でふりかえってみます。

■ 自然観察会

虫をさがそう(8月)



このトンボはなんという名前かな？

サマースクール(8月)

子供達が1日飼育係になり、動物の世話をしました。みんな“来年も必ず来る”と楽しそうでした。



ヒツジもウシも外に出てね。



おいしいエサができたかな。

木の実・落ち葉工作会(10月)



ドングリのこま・クルミのペンダント・落ち葉のはり絵等をつくりました。材料もひろいに行きました。

夜の動物観察会(7月)

ふだん見ることのできない、夜の動物の様子を観察しました。



アライグマは夜でも元気だね。

冬の動物観察会(1月)

冬期休園中の雪の中の動物を観察しました。



身近な動物のあしあと等をスライドで見ました。



ノウサギの毛変わりの様子を勉強しました。

■どうぶつだいすきクラブ

毎月第2・4日よう日の午後、子供動物コーナーで、動物にまつわるクイズ・工作などを行っています。



ねん土でどうぶつをつくろう(7月)

お父さんお母さんもいっしょうけんめい。



ヒツジの毛をかるう(5月)

じょうずにかれるかな?



どうぶつのなき声をあてよう(10月)

テープから聞こえてくる声をきいて動物をあてます。



どうぶつおり紙(11月)

じょうずにおれたかな

どうぶつの足がたをとろう(11月)

足のかたちをよくしらべてみよう。



だれのエサかな(8月)

エサをみて動物をあてるクイズ。動物が食べる場所も観察しました。



どうぶつまちがいさがし(9月)

どうぶつをよくみないと、まちがえちゃうぞ!



■どうぶつとのふれあい



子供動物コーナーで、子ウサギ・モルモット・ヒヨコなどがだっこできます。とても人気があります。



アニマルライドコーナーでは、ポニーに乗れます。ぼうしがにっているね。

動物たち

動物公園には約70種類、400点の動物たちがいます。開園をしたこの一年間にたくさんの人たちにいただきました。かわいい動物、こわい動物、愛きょうをふりまく動物、そしてお客さんなど知らん顔の動物など、それぞれおもしろさがあります。みなさんは、動物たちを見て、どのように感じましたか？



ニホンザルは、いくら見てもあきません！



◀ニューと顔を出して……
(ヒトコブラクダ)



▲ひょうきんもののアライグマ。



▲いつもマイペースのアメリカバイソン。



▲フクロウはなかなか動きません。



▲キジは色がきれいですね！



▲かわいいしぐさが人気者のオグロプレーリードッグ。



◀よく見ると、キツネもけっこうカワイイですよ！(ホンドキツネ)

● 動物公園日誌 (1989.1.1~12.31)

1. 2 バルマワラビー 2 頭繁殖
1. 12 テン 2 頭、岩手都西根町より入園
1. 18 オオハクチョウ 2 羽、岩手県鳥獣保護センターより入園
1. 19 動物病院建設工事竣工
1. 31 トウホクノウサギ 2 頭、秋田県林業試験場より入園
2. 8 園内野鳥調査実施 (毎月 2 回)
2. 9 ニホンツキノワグマ 幼獣 2 頭、陸前高田市より保護入園
2. 12 バルマワラビー 1 頭繁殖
2. 13 盛岡パイロットクラブよりビクトリアコーナーへ花壇をいただく。
2. 17 トウホクノウサギ 2 頭、秋田市大森山動物園より入園
3. 3 アライグマ 5 頭出産
3. 8 ホンシュウジカ 3 頭、三陸町より入園
3. 9 ニホンツキノワグマ 1 頭、岩手公園より入園
3. 20 日本生態園、ビクトリアコーナー、鳥類ゾーン、レストハウス、モグリゲート他建設工事公園全域植栽工事竣工
3. 23 昭和 63 年度第 2 回通常理事会開催
ミカドキジ、コジュケイ、マカモ他入園
キジ類にニューカッスル病予防接種
3. 24 ニホンザル (No.3) 出産
3. 25 動物資料館展示室設置工事、繁殖用予備舎、堆肥集積場、焼却場建設工事竣工
3. 28 日本たばこ産業よりベンチ 30 基、灰皿 20 基をいただく。
コシアカキジ、オナガガモ他入園
3. 29 ヒトコブラクダ 2 頭、オグロプレーリードッグ 6 頭、エミュー 3 羽入園
3. 31 ニホンザル (No.15) 出産
4. 6 カナダカワウソ 2 頭、ピューマ 2 頭、姉妹都市であるカナダ・ビクトリア市より寄贈入園
4. 7 ニホンツキノワグマ 2 頭、四季園より入園
4. 10 ニホンザル (No.12) 出産
4. 21 オオツノヒツジ 2 頭、ビクトリア市より寄贈入園
4. 22 市制 100 周年記念施設、盛岡市動物公園開園式約 500 人出席
午後一般無料開放 7,836 人入園
4. 23 どうぶつだいすきクラブ「どうぶつのお面をつくろう」
5. 5 こどもの日、中学生以下入園無料
5. 14 市民植樹祭開催
どうぶつだいすきクラブ「だれのうんこかな」
5. 19 ニホンツキノワグマ 幼獣 雌、肺炎にて死亡
5. 28 カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州環境省大臣来園
どうぶつだいすきクラブ「羊の毛刈り」
5. 30 動物公園入園者 10 万人記録
フクロウ 1 羽、ニホンアナグマ 1 頭、ホンダタヌキ 幼獣 4 頭、保護入園
5. 31 カナダ・ビクトリア市、ウィリアム・マクリーディ氏より、ビクトリアコーナーへ花飾り街灯 1 基をいただく。
6. 7 平成元年度第 1 回通常理事会開催
6. 11 盛岡市立下小路中学校植樹 (ヨシノザクラ 30 本)
どうぶつだいすきクラブ「どうぶつの絵をかこう」
6. 14 盛岡不来方ライオンズクラブより子供動物園にベンチ 4 基をいただく。
6. 16 ニホンカモシカ 幼獣 1 頭、青森県鳥獣保護センターより保護入園
- 6.21~22 市政見学会 80 名来園
6. 25 どうぶつだいすきクラブ「ミニオリエンテering」
6. 29 さつき会植樹 (200 本)
7. 9 どうぶつだいすきクラブ「ヤギとカルタとり」
7. 13 山形県内市議会事務局・職員 12 名来園
7. 22 バルマワラビーの仔育児のうより脱落、人工哺育するも 3 日目に死亡
7. 23 どうぶつだいすきクラブ「ねん土でどうぶつをつくろう」
7. 29 夜の動物観察会
8. 3 ホンドキツネ 幼獣 1 頭、保護入園
- 8.8~10 サマースクール開催
8. 13 どうぶつだいすきクラブ「虫をさがしにこよう」
8. 16 コノハズク 幼鳥 1 羽、保護入園
8. 20 自然観察会「昆虫を知ろう」
8. 27 どうぶつだいすきクラブ「えさをあげよう」
9. 13 秋田市大森山動物園・小松獣医師他来園視察
9. 10 どうぶつだいすきクラブ「どうぶつまちがいさがし」
9. 15 動物公園入園者 20 万人記録
敬老の日、65 歳以上入園無料
9. 23 動物愛護週間行事「動物相談会」開催
9. 24 どうぶつだいすきクラブ「どうぶつかみしばい」
9. 29 パノラマゾーン建設工事着工
10. 6 ニホンザル (本年生れの個体) マーキング
10. 8 どうぶつだいすきクラブ「木の実・落ち葉工作会」
10. 10 ヤマネ肺炎にて死亡
10. 15 自然観察会「木の実・落ち葉工作会」
10. 17 狭山市智光山公園こども動物園・早川主事来園視察
10. 22 どうぶつだいすきクラブ「どうぶつのなきぶたをあてよう」
11. 1 ニホンツキノワグマ 老獣 (岩手公園より来園)、急性肺炎にて死亡 (22 歳)
11. 2 弘前市やよいの広場より立園氏来園視察
11. 12 どうぶつだいすきクラブ「どうぶつおり紙」
11. 14 市川市動物園より 2 名来園視察
11. 17 アライグマ 3 頭、弘前市やよいの広場へ寄贈
11. 19 シンボルマーク入選者表彰式
11. 23 ニホンカモシカ 幼獣、化膿性肺炎にて死亡
11. 25 横浜市野毛山動物園・大阪獣医師来園視察
11. 26 どうぶつだいすきクラブ「どうぶつの足型をとろう」
11. 29 広島市安佐動物公園園長、常務理事来園視察
12. 1 冬期休園 (翌年 3 月 14 日まで)
12. 11 日本動物園水族館協会加入審査のため上野動物園長中川志郎氏来園
12. 12 オオハクチョウ 1 羽、市内本宮より保護入園 (6 日後、放鳥)
12. 22 ニホンイタチ 1 頭、圧死
12. 25 アライグマ 3 頭、青森県八戸市に寄贈
12. 26 平成元年度臨時理事会開催

お便り から

4月22日の開園から11月30日までの約7ヵ月でおよそ25万人の方が、盛岡市動物公園を利用して下さいました。団体での利用も多く、461団体45,324人が、盛岡市内はもちろん隣県より訪れ、幼稚園・町内会・老人会の遠足の場としても人気があったようです。また、来園者にアンケート調査を実施したところ、次のような声がありました。「自然が多くくつろげるが、動物の種類が少ない」「いい運動になる」「疲れる」動物に触れることができてうれしい」「もっとイベントを増やしてほしい」「初めてデートした思い出の場所です」など、様々ありましたが、全体的に公園としての評価が高い中、動物園としての設備充実を期待する声が多かったようです。盛岡市の11歳の女の子の「ありがとう」や県外からの入園者の「日本の身近な動物をおいて下さる動物園をさがしていました」が特に印象的でした。他にも、小中学校のお友だちから手紙や作文をいただきましたのでその一部を紹介します。

岩山動物園へ

岩山動物園は、とってもかわいい動物ばかりでした。私の中で一番かわいかったのは二つあります。一つはアライグマ、アライグマはとってもりこうでかわいかったです。二つ目は、オグロブレイリーードッグでした。オグロブレイリーードッグは小さくまたかわいい目で私たちを見ていました。動物の話している言葉が分ればいいのになあ。動物のクマはこわくありませんか？いくらクマからかってでも大きくなってしまうとこわくてさわれません。岩山の動物園に行ったらよかったなと思ったこともあります。それは、ヤギをさわれたことでした。動物をさわれるなんて思ってもいませんでした。

それと美人だな。と思ったのもいました。それは、ヒトコブラクダでした。まつげが長くてとってもべっぴんさんでした。私はそのヒトコブラクダさんを見た時こう思いました。ふーん動物にもああいっぱいべっぴんさんの美人もいるんだなあと思いました。動物園に行くのは初めてでした。だからとてもいい勉強になりました。私は動物さんが大すきです。動物は何でも心をこめてしつけを教えればやってくれるのかな？鳥でもペットや動物はどうやってしつけをおぼえさせるの？

動物は人間の字が読めればなあ。動物にお手紙をだせばおへんじがくるのかな。でもやってもだめな動物がいるよ、それはヤギさんです。

これからもうがんばってください。5月7日H(日)

盛岡市立杜陵小学校 4年1組 長岡 亜紀

「動物園へ」

5月2日に遠足へ行きました。よかったと思ったのは、いろいろな動物があることです。

ブレイリーードッグや、アライグマが一番気に入りました。それは、アライグマは、おもしろいことをしたりします。ブレイリーードッグは、あなからでたり入ったりしていました。

他の動物園よりも広くて全部見れませんでした。それにカワウソみたいに水にいる動物が動物園で初めて見ました。やぎのいる広場は、手でさわれるのでいいです。中にも入れます。こういうようなことができるのは、とってもいいです。前からやってみたかったのができてうれしかったです。

私が思ったのは、ゾウや、トラや、キリンや、ライオンがいればよかったなと思いました。

ピューマは、名前を聞いたことがあるけどみたことがなくて一回でも見たかったので見られてよかったです。

岩山の動物公園は、変わってる動物園だと思いました。後、鳥は、鳥と分けてれば見やすかったです。

よかったのは、かん板にせつめいがかいてありました。よく分かりました。

動物は、おりにいれられてかわいそうだけどこの動物園は、遊びもついでに広いのでいいと思いました。木も草もあって気持ちよかったです。動物園と遊びばがくつついたようでした。前より鳥のことやいろいろなことが分かりました。勉強にもなりました。

ピューマは、ねこのようにゴロゴロという声を出したりします。一番、大きい鳥は、ダチョウだそうです。

動物が前より大すきになりました。とってもいい動物園が作られてよかったです。

今までいった中でこの動物園が大きくて、おもしろいと思います。どんどんこういう動物園ができればいいと思いました。とてもおもしろかったです。

盛岡市立杜陵小学校 4年1組 長沢 寛子

豊間根道子さんへ

ミミちゃんのすらいどを見せてもらってよかったです。うさぎのうまれかたが、すらいどでみせてもらって、うさぎのうまれかたがよくわかりました。見せてもらってどうもありがとうございました。

うさぎとモルモットとひよこのことを、だっこしました。うさぎのだっこのしかたおしえてもらってどうもありがとうございました。モルモットのだっこのしかたおしえてもらってよかったです。ひよこのことのだっこをおしえてもらってよかったです。うさぎとモルモットのだきかたおしえてもら

ってよかったです。

やぎ、アヒル、ガチョウ、ひつじとかにえさをやりました。わたしは、やぎとアヒルにえさをやりました。アヒルの食べかたがよくわかりました。わたしがえさをやっていたら、あとについてあるいてたいへんでした、やぎの目がするどいんだなとわかりました。

うしにさわれたのでよかったです。

いろいろ、どうぶつにえさをあげたりしてもらって、どうもありがとうございました。またいったら、見せてください。お手紙ください。

浮田小学校6年 釣木沢 聖固

動物公園のお姉さんへ

動物公園のお姉さんお元気ですか。私は9月12日に見学に来た東和中学校の平野久美子です。スライドとかを見せていただいていたありがとうございました。スライドでウサギの成長の記ろくを見せていただいたりモルモットやうさぎ、ヒヨコなども初めてだかせていただいたり色々な事もおしえていただきました。

最初はだく時さん張したけどだんだんなれて来ました。ヒヨコもかわいかったし、モルモットもウサギもかわいかったです。えさとかやった時アヒルや、やぎは私がえさを持っていると私にいっぱいよりついて来ます。私もやぎやアヒルにえさをやったのは初めてやりました。私が初めて知ったのはやぎに紙を食べさせないで下さいと言う立て札のことでした。石油で出来ていると言う事を初めて分かりました。モルモットやウサギ、ヒヨコなどもだかせていただいていたありがとうございました。動物公園の事はとっても良い思い出になりました。

一度東和町にもあそびに来て下さい。東和町は佐々長のみそなどでも有名です。それに萬鉄五郎のふるさとでもあります。ぜひ東和町へあそびにきて下さい。

それではお元気で体につけてがんばって下さい。

東和中学校2年 平野 久美子

○動物公園について一般の市民は動物園だとの理解があるが、実際に見た印象では動物はいるが公園の要素が極めて強い。市民は動物園という概念で論議するから反対等も出てくるので、動物は置くが公園であるべきことをもっとPRすべきである。

○階段がストレートでこわい。景色がよいので足元の注意が、おろそかになり危険だ。トイレはもっとあってほしい。

○街中にあのような規模の動物公園があるのはすばらしい。よそではもっと郊外にある。秋にもう一度行ってみたい。ビクトリア園のように四季折々の草花が園内全体にあればよいと思う。

○休憩所が小さいし売店が欲しいという意見に同感であるが、動物公園は全体が清潔なイメージで整備されているので、売店とか自動販売機は目立たないものでありたい。ゴミ入れも配慮して欲しい。

○ウサギなどの動物と直接触れ合えるのは情操教育上大変よいことである。動物との触れ合いをもっとPRして欲しい。

街づくりわいわい塾動物公園視察会

オジロワシが散弾でひどいめにあいました。おたすけ下さいました方々に感謝いたします。傷口のはれはひかないとのこと、はげしい痛さをじっと忍耐しているワシの気持ちを察し、大声で泣きたい思っています。

ワシは、鳥類でも強く、私達に「ワシの如く」と教えてくれましたが、そのワシの飛べなくなったのは人間です。ごめん

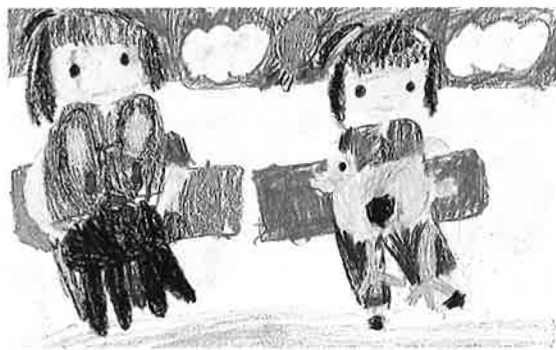
なさい。

散弾で使命が果たされなくなったワシのつばきよ、一日も早くワシの羽の広がり行くすがたをもう一度見せて下さい。早く食欲が出ますようにお祈りいたします。

岩手医大病院にて 83歳の女性



ばんをちぎってやぎにあげた。ててやった。だっこはできなかった。こわいから。あひるにもばんをやった。けんいち



うさぎをだっこしたり、ひよこをだっこしたりして、かわいかった。かじられたけどかわいかった。かなこ

紹介しなすこの人



荒牧匡之

昭和39年4月21日東京都生れ。

ウマ年生れではないけれど、アニマルライドコーナーでポニーを引いて子供達によろこばれている浅黒い顔のおにいちゃん。

彼は日本語のほかに、ポニー語、ラクダ語などを話す不気味なやつ。

動物との会話で彼の右に出る者はいない。運動神経は抜群で、ポニーに競走で勝ったとか……。

作業服の襟を立てて、自分をアピールする、ツッパリ飼育係とは彼のこと。(O氏談)



キブシ (側膜胎座目・キブシ科)

動物公園にはたくさんの緑があり、自然とふれあえるように散策路が設けてあります。そこでは四季おりおりの花や植物、鳥、こん虫などが観察されます。飼育係には動物飼育の他に、園内の自然を観察し、記録する仕事もあります。これを『園内自然だより』として毎月発行し、入園者の方々に御覧いただけるように入口案内においております。

写真は、水鳥池近くの散策路で昨年(1989)の4月に写したものです。園内の林の中に入ると比

較的多く見られるこの木は、日本全土の山地にはえ、春には細い枝に数珠(じゅず)を切ってぶらさげたような、黄色の花をつける高さ3m前後の低木です。夏にはまわりがギザギザのだ円形の葉をつけます。秋になると紅葉し枝にはぶどうのふさを細くしたように、たくさんの赤い球状の果実がたれさがります。この赤く成熟した果実の中には多数の種子が入っています。〔分布〕北海道(西南部)、本州、四国、九州。

zoo もりおか

創刊号 1990年

発行日 平成2年3月15日

編集・発行 (財)盛岡市動物公園公社

〒020 岩手県盛岡市新庄字下八木田60-18

TEL. 0196 (54) 8266

印刷所 三陽印刷株式会社